

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和8年10月8日(木)

令和8年10月8日(木)付南日本新聞に農業工学科・校外視察研修の記事が掲載されましたので、紹介します。

薩摩中央高生が 焼酎工場を見学

さつま町の薩摩中央高校農業工学科の2年生7人が9月30日、小牧醸造・小牧蒸留所(同町時吉)を訪れ、焼酎の製造工程を学んだ。地元企業の取り組みを知る総合実習の一環。写真。

小牧一徳社長(53)が仕込みや蒸留などについて説明。生徒らは、作業担当者が原料のコガネセンガンを丁寧に処理する場面をのぞいたり、タンクが並ぶ工場内を見学したりした。新酒ができあがる様子も見た。

小平采央さんは「多くのサツマイモを原料に使うことに驚いた。たくさんの方が協力して製造していることも知った」。小牧社長は「お酒づくりはチームでやる作業。みんなが誇りを持って一丸となり、飲む人が笑顔になれる焼酎づくりを目指している」と話した。

(中島裕二郎)

